

警察署協議会議事録

協議会名	令和6年第1回宮城県南三陸警察署協議会
開催日時	令和6年2月21日（水）午後1時30分から午後2時40分まで
開催場所	宮城県南三陸警察署大会議室
出席者等	<p>1 協議会委員 会長以下 4名 佐藤信一会長、舘寺俊明副会長、阿部洋子、阿部恵美子</p> <p>2 警察署 署長以下 8名 署長、次長、会計課長、警務課長、地域課長兼生活安全課長、刑事課長、交通課長、警備課課長代理</p>
議事概要	別紙のとおり
備考	

<p>議 事 概 要</p>	<p>1 報告・協議事項</p> <p>(1) 令和6年の業務推進重点について【各課長】</p> <p>ア 会計課の業務推進重点【会計課長】 令和5年中の落とし物や拾い物の取扱い状況及び迅速、適切な落とし物、拾い物業務の推進について説明がなされた。</p> <p>イ 警務課の業務推進重点【警務課長】 令和6年の警察署協議会の開催、警察官募集活動の積極的な推進や適切な相談受理等について説明がなされた。</p> <p>ウ 生活安全課の業務推進重点【地域課長兼生活安全課長】 犯罪の起きにくい環境づくりと身近な犯罪の抑止等の推進、行方不明事案に対する諸対策の推進、少年の健全育成活動の推進、県民に不安を与える犯罪の徹底検挙と総合力を活かした対策の推進、サイバー空間の脅威に対する総合対策の推進について説明がなされた。</p> <p>エ 地域課の業務推進重点【地域課長兼生活安全課長】 職務質問を始めとする積極的な街頭活動の推進や実態把握活動の強化による住民の要望に基づく問題解決活動等の推進、現場執行力強化に向けた取組の推進について説明がなされた。</p> <p>オ 刑事課の業務推進重点【刑事課長】 令和5年中の特殊詐欺被害状況、重要犯罪・町民が身近に不安を感じる犯罪の検挙活動の推進、組織犯罪対策の推進等について説明がなされた。</p> <p>カ 交通課の業務推進重点【交通課長】 令和5年中の交通事故発生状況、交通事故抑止活動の推進、飲酒運転の根絶活動の推進等について説明がなされた。</p> <p>キ 警備課の業務推進重点【警備課課長代理】 災害・テロ等緊急事態への迅速・的確な対応や変化する治安上の課題への的確な対応について説明がなされた。</p> <p>ク 報告事項に対する質疑【委員】 特になし</p> <p>(2) 速度取締りの指針について 交通課長から南三陸警察署における重点エリアの設定等について説明がなされた。</p> <p>【委員】 速度取締りの指針は、南三陸警察署の独自のものか。</p> <p>【交通課長】 ただ今説明したものは、当署独自のものであり、県内にある25警</p>
----------------	---

察署が地域の特性や道路状況、交通事故の発生状況等を踏まえ、それぞれ独自で作成しているものである。

2 意見・要望等

【委員】

近頃、町の広報で振り込め詐欺等の放送がされているが、町内で特殊詐欺の電話や被害等が確認されているのか。

【刑事課長】

当署管内において、令和4年は特殊詐欺の発生がなかったが、令和5年は数件の発生を認知している。

また、被害には至らないものの、特殊詐欺と疑われる電話やメールがあったとの相談を数件受理しており、今後、被害の拡大が懸念される場所である。

【委員】

美里町において吹雪でLED式の信号機が見えなくなったというニュースを見たが、南三陸町におけるLED式の信号機の設置状況とふぶいた時の対応について教示願いたい。

【交通課長】

当署管内の信号機についてはほとんどがLED式の信号機となっている。一般的にLED式の信号機には熱源がないことから、付着した雪が溶けることはなく、現在のところ、直接信号機に着いた雪を払う方法しかない状況であり、今後の対策については警察本部と検討中となる。

【委員】

三陸道が完成し、その便利さから町民にとって生活に欠かせない道路となっており、利用する人が多くなっている反面、加速車線から本線に合流する際、うまく合流できずに加速車線に停車している車が時々散見される。

本線を走行している車両は加速車線から合流する車両に進路を譲らなければならないと認識しているが、その点も踏まえて交通安全教養や免許更新時において教養をしていただきたいと思っている。

【交通課長】

お話しのとおり、加速車線から本線への車線変更時は本線を走行している車両が進路を譲らなければならないことになっているが、加速車線を走行中の車両が上り坂などにより、十分に加速できていない車両も散見されるので、直ちに改善することが難しい面もある。

三陸道は、高速道路交通警察隊の管轄となるので、加速車線時の合流に対する広報など実施してもらえよう連絡・調整をする。

また、当署についても、交通安全教養の機会を通じ、三陸道合流

議事概要

時の注意事項等について広報をしていきたいと考えている。

【委員】

小学校などにおいて、子供たちの安全が脅かされるような事案が発生した場合、町内の小学校については、災害発生時の避難所にもなっており、校門を閉め切ることが難しい状況となっていると思われる。

そのような状況において、子供たちが安心安全に学校生活をしていくために実施している業務について教示願いたい。

【地域課長兼生活安全課長】

生活安全課及び地域課では、当署管内の小中学校の教職員と連携を密にしており、朝夕の登下校時の見守り活動を推進している。

また、学校の門扉や車両止めについては、昨年、他管内で発生した事件の際に当署で学校に赴き、実際に確認をして、改善が必要なところは、申入れを実施しているところである。

いずれにしても警察だけでは活動に限界があることから、地域住民と一体となり、連携しながら、継続して子供たちの安心安全を見守って行きたいと考えている。

【委員】

12月31日付けで南三陸町が交通死亡事故ゼロ3500日を達成したものであるが、これはとても素晴らしいものであり、町民の交通安全の意識の高さの表れだと思っている。

この結果は、町民全員が頑張って達成したものであるから、警察で行っている小学校などでの交通安全教育では、町民全員で達成した素晴らしい記録であるということをお話していただきたい。そのことが、子供たちの励みになると思うし、その言葉を家庭に持ち帰ることによって、両親や祖父母の交通安全の意識の高揚、さらには町全体の交通安全の意識高揚へとつながると考えられる。

【交通課長】

機会があれば、教養を行っていきたい。

3 次回の開催連絡

【警務課長】

次回の警察署協議会の開催は、令和6年7月中旬の開催を予定している。